石神第二小学校便り

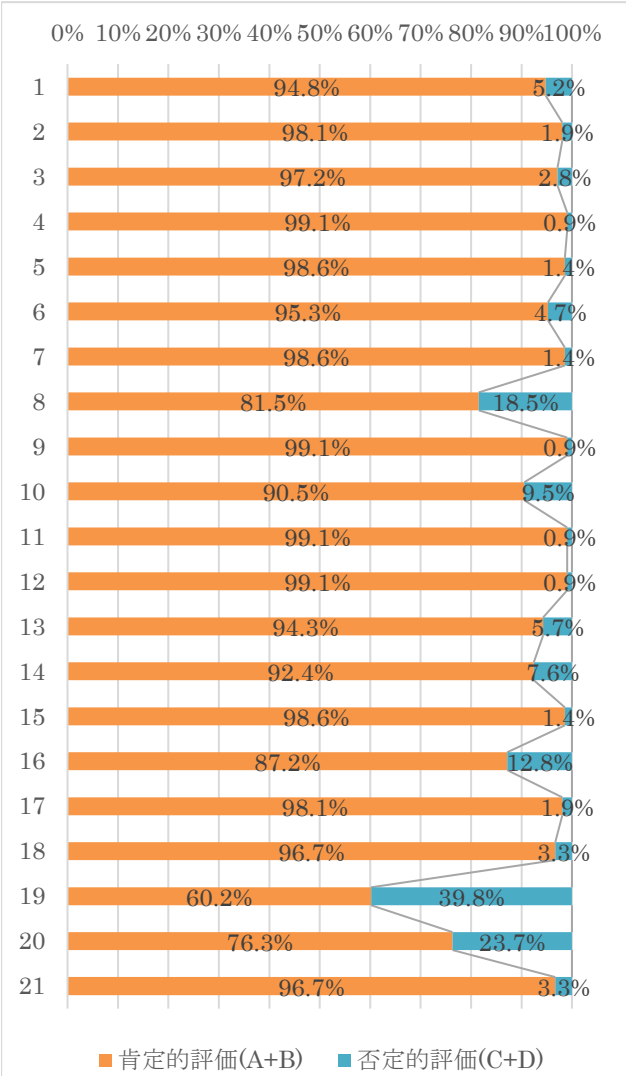
令和２年度 第 12 号（2 月号）
文責：石神第二小学校長 林　典行

令和２年度学校評価結果について

保護者の皆様には２学期末に学校教育活動に関するアンケートをいただきました。令和３年度に向けた本校教育の改善の手がかりとさせていただきます。

No1	【学校】学校は、教育方針を各家庭に伝えている。
No2	【学校】保護者や地域の人が学校に行きやすい開かれた学校である。
No3	【学校】校舎内外の環境が整備され、子どもは快適で安全な生活が送れている。
No4	【学校】学校は、子どもの学習や生活の様子をホームページやメール、たよりなどで伝えている。
No5	【児童】子どもは、学校生活を楽しんでいる。
No6	【児童】子どもは、学習したことを身につけている。
No7	【児童】子どもの思いやりの心は育っている。
No8	【児童】子どもはすすんで運動し、丈夫な体をつくろうとしている。
No9	【児童】子どもは、家族と会話をしている。
No10	【児童】子どもは、家庭でも学習(宿題・読書など)に取り組んでいる。
No11	【教職員】教師は、わかりやすい授業を行っている。
No12	【教職員】教職員は、子どものがんばりを認めている。
No13	【教職員】教職員は、子どもの問題や悩みに適切に対処している。
No14	【教職員】教職員は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。
No15	【保護者】学校からのおたよりや連絡帳には目を通している。
No16	【保護者】気になることがあれば、学校に連絡(相談)している。
No17	【保護者】子どものよさを見つけ、ほめたり認めたりしている。
No18	【保護者】子どもに早寝・早起き・朝ご飯の大切さを教えている。
No19	【保護者】子どもが家庭で読書をしている。
No20	【保護者】子どもの将来の夢や目標を知っている。
No21	【保護者】授業参観などの学校行事やPTA活動には、参加するようにしている。

※　「学校関係者評価」につきましては、本校ホームページに掲載いたしましたのでご確認ください。



学校から

どの項目も概ね肯定的評価をいただいておりますが、否定的評価の割合が高かった項目を３つ抽出すると以下のとおりになります。

① 子どもが家庭で読書をしている。（否定的評価３９．８％）
② 子どもの将来の夢や目標を知っている。（否定的評価２３．７％）
③ 子どもはすすんで運動し、丈夫な体をつくろうとしている。（否定的評価１８．５％）

これらを課題ととらえると、その改善策のひとつは目的意識をもって学習や運動に励もうとする意識を高めることです。そのためにも、学校では豊かな体験活動の更なる充実を図る、家庭ではネットやゲーム等に費やす時間を短くする、学校と家庭が共に意識しながら取り組んでいくことこそ何よりも肝要となります。